

令和3年度 第2回碧南市国民健康保険運営協議会 会議録 (要旨)

1 日時 令和3年11月22日(月) 午後1時30分から午後2時13分まで

2 場所 碧南市役所 2階 会議室1

3 出席者

(1) 出席者(13名)

河原 厚司、高松 好美、鏑本 幹夫、小澤 只嗣、杉浦 三雄、
生田 譲、長田 和久、茂木 仁志、片伯部裕樹、三島 孝二、
土川 俊幸、須田 翠子、杉浦晴太郎

欠席者(2名)

榊原由太郎、齋藤 英延

(2) 事務局職員

健康推進部長 山本 政裕、
国保年金課長 池田 竜也、
国保年金課課長補佐(国保係長) 小笠原 康夫、
国保係主事 中根 弘樹

4 傍聴者 0人

5 議題

(1) 令和4年度碧南市国民健康保険の税率等の見直しについて

議題(1)について、事務局が説明。

採決を行った結果、賛成全員で承認された。

<意見・質疑>

【A委員】市長の諮問ということですが最終的には議会に行くということですか。

【事務局】そうです。最終的には、ここでご審議いただいた結論を踏まえて、もし税率改正ということになれば今後議会等へ進むということになります。

【A委員】自分なりにコロナの影響となるとリストラされたりとか何となくわかるような気がするけど、それから徴収も滞納されているとかかなと思うんですけど、コロナの影響による減収の主な要因はどのようなものですかね。

【事務局】コロナによる減収となりますと令和3年度予算で行きますと令和2年中の所得が対象となり、令和2年という一番コロナの影響があるということになりますので、令和3年度は大きく減り、先ほど9,700万円くらいの影響があると申し上げました。減収ではそれが一番大きな要因となります。

【A委員】今までの内部留保をごっそりを使ってしまい、それで穴埋め的に一般会計から

法定外繰入金で補うということですね。

一般会計ということは市民の皆さんから集めたお金です。それを特定の国保に一般会計の税金で補うということは、何となく偏った部分のお金が行くという不公平感というものが理解いただけないのではないのでしょうか、皆さんに。

【事務局】 あくまで国民健康保険の会計は特別会計ということですので、国民健康保険の事業のための会計でありますので、その中で財政運営を行っていくというのが本来の趣旨であります。一般会計から入れるということになると一般の人から負担していただくということになり、それが2億3億となってくると、人口7万2、3千人の人口の人たちが国民健康保険のために負担をするということになってしまいます。それはそのままずっと行くというのは理解を得るのが難しいと考えております。

【事務局】 本日ご欠席をされていますB委員から事前にご意見をいただいておりますのでご報告をさせていただきます。

令和4年度国民健康保険税の税率等の見直しについて、税率改正案に賛成いたします。委員として役割を果たすべく検討いたしました。市民への配慮を感じております。というご意見でありました。